

<令和8年2月3日（火） 教育長定例会見>

○ 読売新聞

探究学習推進事業の強化合宿の日程や、授業扱いなのか特別活動なのかを教えてください。

○ 県職員

日程は、夏休みを予定しています。夏休みであることから授業外になります。

○ 読売新聞

イメージとしては、宿泊し、交流や学びを深める場になるのですか。

○ 教育長

課題解決型の学習ですので、フィールドワークもします。

○ 県職員

異なる高校の生徒がペアやグループを組み、課題解決の練習をします。具体的には、専門家からアドバイスを受け、考えをブラッシュアップするため夜も話し合い、翌日に最終的な発表を行います。これらの活動の中で、探究の学びを深化させるという目的があります。

○ 読売新聞

ペアの組み合わせは、どのようになりますか。

○ 県職員

対象校は全日制の県立高校で、現時点では未定です。独自に探究活動に力を入れている学校を検討中。講師も検討中です。

○ 読売新聞

豊かな学びの環境整備事業の「棟」は、1校あたり1棟という考え方ですか。

○ 教育長

学校によって2棟ある場合もあります。全ての県立学校の体育館を合わせると51棟になります。

○ 読売新聞

スワルとアガルプロジェクトは、女子トイレの洋式化を進める新規事業ですか。

○ 教育長

女子トイレに列ができるようなところを基準に選びました。男子トイレも一緒に改修します。

○ 読売新聞

3年で16棟行うのは、男女それぞれのトイレで実施するのですか。

○ 教育長

1棟で男女あり、16棟やります。